CHARITESLAB

保管用

EPiX Core

卓上型 IPL 脱毛・美顔器 EPiX Core

ユーザーマニュアル

IPL Hair Removal & Skin Care Device
User Manual



※本冊子の記載内容は 2026 年 10 月時点のものです。
※このマニュアルは、機器を安全にご使用いただくために必ずお読みいただき、大切に保管してください。

CONTENTS / 目次

● 1. 機器の紹介…… 03

○ 1.1 施術原理 …… 03

○ 1.2 機器のメリット …… 04

○ 1.3 機器パラメーター…… 04

○ 1.4 画面操作説明 …… 04

● 2. 機器の安全性 …… 09

○ 2.1 機械的な安全性…… 09

○ 2.2 操作上の安全性…… 09

○ 2.3 目の保護・安全性 …… 09

○ 2.4 火災に対する安全性…… 10

● 3. 操作手順…… 10

● 4. 禁忌事項…… 10

● 5. メンテナンスとトラブルシューティング…… 11

○ 5.1 メンテナンス…… 11

○ 5.2 トラブルシューティング…… 11

● 6. 保証書…… 12

1. 機器の紹介

1.1 施術原理

1. IPL 脱毛の原理

IPL（インテンス・パルス・ライト）フォト脱毛の原理は、610nm～1000nm の広範囲な波長のパルス光を使用することです。細かく調整可能なパルス幅により、人間の体のさまざまな部位、異なる毛色、異なる深さの毛を永続的に減毛・除毛することができます。

2. シミ（そばかす）除去の原理

強力なパルス光を使用して肌の深部にある色素を抽出・分解し、リンパからの排出を促進します。また、一部の色素は肌のターンオーバー（代謝）によって体外へ排出されます。

3. 若返り（スキンケア）、美白、シワ改善、毛穴縮小、引き締めの原理

強力なパルス光で、肌の真皮層にある線維芽細胞を刺激します。これによりコラーゲンの増生を促し、細胞や組織の再配列を活性化させることで、肌の若返り、美白、シワ改善、毛穴の引き締め、リフトアップ効果を達成します。

4. 赤ら顔（毛細血管拡張）改善の原理

強力なパルス光を用いて皮膚病変の毛細血管を凝固させ病変部位を正確にロック（標的化）することで、パルス光の効果をより強力に高めます。凝固した血管は皮膚の代謝とリンパ循環を通じて排出されます。施術後、血管がクリアになり、やや紫色に変化した状態が最も効果が出ているサインです。

【主な対応施術項目】

1. IPL スライディング（連射）高速脱毛
2. スキンケア（若返り）、シワ改善、色素沈着の除去
3. 肌質の改善、滑らかで繊細な肌への導き、肌の弾力性の向上
4. くすんだ肌色の改善、透明感のある均一な肌トーンへの改善
5. 色素沈着による跡（そばかす、日焼けシミ）のケア
6. ニキビによって残った色素沈着のケア
7. 血管病変、赤ら顔（毛細血管の浮き出た肌）のケア



1.2 機器のメリット

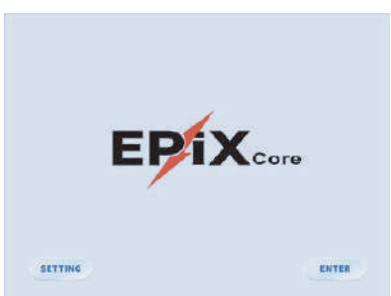
● **無痛：**連続的な光照射により、痛みのない快適な脱毛を実現します。
● **迅速：**スポット面積が大きく、滑らせるようなスライディング操作が可能です。
● **非侵襲的：**皮膚組織にトラウマ（傷跡や損傷）を残しません。
● **安全：**強力な光による副作用を効果的に回避でき、同時に操作の難易度も大幅に軽減されています。
● **効果：**より幅広いお客様に適応し、施術直後の効果が目に見えて分かりやすく、長期的な効果も持続します。

1.3 機器パラメーター

● Elight（E-light）波長：480nm / 530nm / 640nm
● レーザー電源：220V
● 冷却システム：水冷 ＋ 空冷

1.4 画面操作説明

起動画面で**「ENTER」**をクリックすると、
以下のモード選択画面に進みます。
画面上に 6 つのアイコンが表示されます。





1. 脱毛
2. スキンケア
3. シミ除去
4. 赤ら顔改善
5. ニキビケア
6. EPiX SHR（高速連射脱毛モード）

※画面下の「＞」をクリックすると、各施術インターフェースに進みます。「＜」をクリックすると前のレイヤーに戻ります。「スキンケア」「シミ除去」「赤ら顔改善」「ニキビケア」の操作画面は共通の構成になっています。

【画面内の各ボタン・表示の意味】

● **パルス幅変調**：－ ms ＋ ボタンで光が流れる時間を調整します。
● **頻度**：－ p/S ＋ ボタンで 1 秒間の発光回数を調整します。
● **エネルギー**：∧ ∨ ボタンで照射エネルギー（J/cm²）を調整します。
● **冷却ボタン**：雪の結晶マーク。クリックで冷却レベルを調整します。
● **現在のカウント**：今回の施術での照射回数。
● **トータルカウント**：機器またはハンドピースの総照射回数。
● **READY（開始）**：施術可能状態にします。コンデンサへの自動充電が始まります。
● **STANDBY（一時停止）**：スタンバイ（待機）状態に戻します。

【推奨施術設定プログラム】

施術項目	第 1 パルス幅 (ms)	第 2 パルス幅 (ms)	継続 パルス幅 (ms)	パルス周期 (ms)	パルス数 (p)	光 エネルギー (J/cm²)	推奨間隔	推奨回数
脱毛	6.0	6.0	5.0	15-20	5-6	18-40	21-28 日ごと	5-7 回
血管（赤ら顔）	2.0	2.0	3.0	30	2	6-12	25-30 日ごと	6-7 回
シミ除去	2.0	2.0	3.0	25	2-3	10-20	25-30 日ごと	5-7 回
スキンケア	2.0	2.0	3.0	25	2-3	8-15	18-20 日ごと	6 回
ニキビケア	1.0	1.0	2.0	20	2-3	8-12	20-25 日ごと	6 回

1. 施術モード選択後、「READY」ボタンを押すと照射ヘッドが起動し、自動的に充電が始まります。充電完了後、照射可能になります。「STANDBY」ボタンを押すと照射ヘッドがオフになり、待機状態になります。

2. 冷却調整：照射ヘッドの冷却温度を 5 段階で調整できます。青い雪の結晶マークが多いほど冷却が強く、結晶マークが消えると冷却がオフになります。

3. 戻るボタン（＜）：モード選択メニューに戻る際に使用します。グレーアウトしている時（READY 状態）は操作できません。

4. 光エネルギー：出力エネルギーを調整します。調整範囲は 1〜50J/cm² です。施術中でも ＋ － キーで直接調整可能です。

【各メニューの具体的な操作手順】

※脱毛には 640nm フィルター、スキンケア（若返り）には 480nm または 530nm フィルターを使用します。

(1) 脱毛

1. 毛をトリミングする。（1〜2mm 程度残す）
2. 施術部位をクレンジング・洗浄する。
3. 冷感ジェル（ジェル）を薄く均一に塗布する。
4. 赤色光のガンチップ（ハンドピース）を使用して照射する。

※チップを皮膚に軽く密着させ、隙間が空かないように 1 箇所ずつ隣へ移動させながら照射します。しぶとい毛に対しては、毛の生えている方向に向けてチップの角度をわずかに傾けると効果的です。

5. 同じ場所に 3〜5 回照射します。（毛がわずかにカールするか、毛が焦げたような臭いがすれば OK です。）
6. 施術後、冷却用のジェルを厚めに塗って約 10 分間冷やし、その後きれいに拭き取ります。（仕上げに肌修復成長因子などを塗布します。）

(2) スキンケア / 若返り

1. 施術部位をきれいにクレンジングする。
2. 冷感ジェルを均一に塗布する。
3. ハンドピースの先端を肌に密着させ、1 箇所ずつずらしながら照射します。
顎から頬、そして額へと向かって、3〜5 回往復するように照射します。
4. 施術後、冷感ジェルを厚めに塗って約 10 分間冷却し、きれいに拭き取ります。（修復成長因子を塗布します。）

(3) シミ除去

1. 肌をきれいに洗浄する。
2. 施術部位に冷感ジェルを均一に塗布する。
3. チップを肌の表皮にしっかりと密着させ、スポット（照射面）が重なるように 1 箇所ずつ照射します。
4. 3 回以上往復して照射します。色素が濃くなり、表皮に浮き上がってくるような反応が見られると最も良い状態です。
5. 施術後、ジェルを厚めに塗って約 10 分間冷却し、きれいに拭き取ります。（修復成長因子を塗布します。）

(4) ニキビケア

1. 施術部位をきれいにクレンジングする。
2. 冷感ジェルを均一に塗布する。
3. チップを肌に密着させ、顎から頬、そして額へと向かって 3〜5 回往復します。
4. ニキビの赤みがわずかに増す程度の反応が出れば、良い効果が得られています。
5. ジェルを厚めに塗り、約 10 分間冷却してから拭き取ります。（修復成長因子を塗布します。）

(5) 赤ら顔・毛細血管ケア

1. 施術部位をきれいにクレンジングする。
2. 冷感ジェルを均一に塗布する。
3. チップを皮膚にぴったりと押し当て、顎から頬、そして額へと 3〜5 回往復します。
4. 赤い毛細血管のスポットが、暗い赤色または赤紫色に変化すれば最も良い反応です。
5. ジェルを厚めに塗り、約 10 分間冷却してから拭き取ります。（修復成長因子を塗布します。）

【注意：施術後の共通禁止事項】

すべての施術において、施術後 24 時間は熱いお湯に触れないこと、日光に当たらないこと、サウナに入らないことを徹底してください。肌の修復を促し、色素の沈着（炎症後色素沈着・リバウンド）を防ぐため、肌修復製品（成長因子など）を併用してください。

【施術後の禁忌および注意事項】

1. 辛い食べ物や刺激物、シーフード（海鮮）、色の濃い食品（色素の強いもの）の摂取を控え、禁煙・禁酒を心がけてください。
2. 施術後 3 日以内は、刺激の強いスキンケア製品（固形石鹸、洗浄力の強すぎる洗顔料など）を使用しないでください。また、強力なシミ用製品（ハイドロキノン等）の使用も禁止します。
3. 紫外線対策を徹底し、SPF20 以上の日焼け止めを必ず使用してください。
4. 施術後は、純天然成分（オーガニック等）の肌に優しいスキンケア製品の使用を推奨します。
5. 顔にカサブタ（マイクロクラスト）ができた場合、手で無理に剥がさないでください。自然に代謝して落ちるのを待ちます。施術後 10 日間は冷水で洗顔し、サウナやフェイシャルスチームは禁止します。通常のフェイシャルケア（エステ等）は 10 日後から再開可能です。

【副反応が遅れて出た場合の対処法】

施術者の不適切な操作、あるいはお客様自身の体質（肌の色が濃い、赤みが出やすい、敏感肌など）により、24〜48 時間以内に遅発性の反応が起こる場合があります。

① 薄いスポット状の跡・赤みが残った場合

・UV クリーム等を 1 日 3 回塗布してください。

② 水ぶくれ（水疱）ができた場合

・使い捨ての滅菌針で浸出液を抜き、生理食塩水できれいに洗浄した後、UV クリーム等を 1 日 3 回塗布してください。

③ 皮膚の著しい赤み・腫れ

・シミケアのお客様の場合、肌の赤みが引くまで 15〜30 分間冷風を当てるか、重度の場合は直接コールドコンプレス（氷冷）を行い、その後 UV クリーム等を塗布します。

・スキンケアや脱毛のお客様の場合、冷水でコットンパック等を行い、その後天然成分のスキンケア製品を塗布してください。

※光線ケア製品の使用期間は、お客様の肌の修復状況に応じて調整してください。回復期以降は、日焼け止め（SPF20 以上）による保護と、徹底した保湿（純天然・純植物性のケア製品）を継続してください。

【施術を受けていただけない方】

① 妊婦、または光線過敏症（日光アレルギー）のある方
② 直近でアレルギーを誘発しやすい食品や医薬品を摂取・服用した方
③ 心臓ペースメーカーや除細動器を装着している方
④ 施術希望部位の皮膚に傷や炎症、疾患がある方
⑤ 糖尿病、心臓病、高血圧、てんかんの持病がある方
⑥ 皮膚ガンの疑いがある方

【プロとしての施術テクニック・コツ】

① シミ除去の際

お客様にチクチクとした軽い痛み（我慢できる範囲）があり、皮膚がわずかに赤くなるのが正常です。赤みは約 10 分で消えます。（個人差により 30 分ほど続く場合もありますが、これも正常な現象です。）

② 真皮性のシミや肝斑（かんぱん）について

これらは美容業界で最もアプローチが難しく、ケアのサイクルが比較的長くなります。現在、IPL によるアプローチはこれらに対して非常に優れた方法の一つです。4〜6 回の施術で理想的な効果が得られます。

③ 毛細血管（赤ら顔）ケア

照射後、血管がクリアになり紫色に変化した状態がベストです。もし直後に反応が見られない場合でも、通常 4 回ほどの施術を重ねることで良い状態へ向かいます。

④ 毛穴の開き、黒ずみ、ニキビ

これらは一般的に過剰な皮脂分泌や不適切な洗顔が原因 です。IPL 照射後 2〜3 日で黒ずみの原因（角栓の油分）が浮き上がり、約 7 日ほどでスッキリと消失します。

⑤ 脱毛の際

脇や髪の生え際（ヘアライン）では、チクチクとした軽い痛みと、わずかに毛が焦げたような臭いがします。四肢（腕や脚）では軽いチクチク感があります。毛には 3 つの周期（成長期・退行期・休止期）があり、効果があるのは「成長期」の毛のみであるため、完全に仕上げるには 3〜4 回の施術が必要です。

⑥ 敏感肌・色黒の肌の方

24〜48 時間以内に遅れて副反応が出やすいため、施術直後に反応が薄いからといって、独断でむやみにエネルギーを上げないでください。

⑦ 照射スポットの配置

照射は順番に行い、前の照射スポットの 3 分の 1 が重なるように（オーバーラップ）丁寧にハンドピースを進めてください。

⑧ 部位ごとの微調整

色素沈着が濃い部分や、肌トーンが暗い部位では、パラメーターやエネルギーをその都度調整してください。特に額（おでこ）や口角（唇のまわり）を施術する際は、骨が近く皮膚が薄いため、パラメーターとエネルギーを少し下げて微調整する必要があります。

⑨ 施術中は、常にお客様に体感（痛みの強さや熱さ）を問いかけ、適切なエネルギーに調整しながら進めてください。

2. 機器の安全性

【警告（WARN）】

・機械の電源を入れる前に、必ず本体に蒸留水を満タンに注入してください。

・本体内の蒸留水が入っていない状態で起動すると警告音が鳴り照射ガン（ハンドピース）が安全装置で作動しません。蒸留水を入れて下さい。

・本体の通気孔（Overflow）から蒸留水が溢れ出てきたら、満水のサインです。

2.1 機械的な安全性

● 特別の指示がない限り、筐体（外枠のカバー）を開けた状態のままで機器を作動させてはなりません。

● 機器のすべての付属品（ハンドピース等のプラグ）を抜き差しする際は、プラグにあるネジロックを必ず時計回り／反時計回りに回し、確実に固定または緩めてから行ってください。

2.2 操作上の安全性

1. 必ず専門の知識を持ったプロフェッショナル、またはトレーニングを受けたスタッフが操作してください。
2. RF（高周波）機能を使用するには、オプションで RFを導入することになります。詳しくは、スタッフまでお問合せ下さい。
3. 機器の使用中に万一お客様に有害な反応（異常な痛みや火傷等）が見られた場合は、直ちに使用を中止してください。
4. 安全を確保するため、使用後は必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
5. 機器が作動している最中に、電源コードを直接引っ張って抜くようなことは絶対にしないでください。
6. 機器のメンテナンスやお手入れを行う際は、まず最初に必ず電源プラグを抜いてください。

2.3 目の保護・安全性

● 施術を行う部屋にいるすべての人（施術者、お客様、および立ち会うスタッフ）は、必ず専用の遮光保護メガネ（ゴーグル）を着用しなければなりません。

● 強力な光が直接目に入らないように細心の注意を払ってください。

● 操作を一時的に中断（ポーズ）する場合は、誤照射を防ぐため、機器を必ず「STANDBY（スタンバイ）」モードに設定してください。

● フットスイッチ（別売）やハンドピースのトリガー（照射ボタン）は、照射面が完全に施術部位に狙いを定め、密着しているときにのみ押すようにしてください。

2.4 火災に対する安全性

● 万一に備え、消火器がすぐに利用できる場所に設置されていることを確認してください。
● 可燃性の紙製品（ティッシュやペーパーシーツなど）を照射光の近くで使用することは避けてく ださい。
● 可燃性の物質、アルコール、または引火性のスキンローションなどが周囲にある環境では、絶対にシステムを作動させないでください。

3. 操作手順

1. お客様がエステベッドにリラックスして横たわっていることを確認し、専用の保護ゴーグルを着用させます。
2. 肌をきれいにクレンジングし、メイクの残りや日焼け止めを完全に除去します。
3. 累積エネルギーの計算やショット数管理のため、現在のパルス照射回数（カウント）を記録します。
4. お客様の肌に合わせた適切なパラメーターを選択・設定し、保存します。
5. ハンドピースをチェックし、冷却機能が作動して照射面がしっかりと冷えている（凍結点状態である）ことを確認します。
6. ハンドルを皮膚に対して垂直にしっかりと保持し、照射面が肌に完全に密着するように当てます。
7. 脱毛を開始する前に、必ず一部の肌でテスト照射（スキンチェック）を行い、肌の反応に問題がないか観察してください。

4. 禁忌事項

以下に該当するグループの方は、本機器によるケア（施術）には適していません。

・皮膚に強い炎症、発赤、腫れ、傷、出血等がある場合
・強い日焼けがある場合
・施術部位に皮膚疾患等の異常がある場合
・光に対する過敏症がある場合
・光感受性を高める可能性のある薬剤を使用している場合
・施術部位にタトゥー、刺青、アートメイク等がある場合
・施術部位にほくろ等、照射を避ける必要がある部位がある場合
・粘膜等、本機器の使用対象外となる部位
・その他、施術により皮膚への負担が生じるおそれがある場合

5. メンテナンスとトラブルシューティング

5.1 メンテナンス

1. 機器を常に清潔に保つため、使用後は毎回必ず清掃を行い、機器の外装にダストカバー（防塵布）をかけて保管してください。機器の表面は柔らかい布で拭き取ることができます。
2. 機器はトレーニングを受けたスタッフが操作してください。起動した後は、機器のそばを離れずに管理してください。本体および付属品が完璧な状態であるか、定期的にチェックする専任者を決めて運用してください。
3. 有害なガスや腐食性の液体が機器の内部に流れ込まない様に注意して下さい。ショートや漏電・感電事故を防ぐ為、本体への蒸留水の出し入れ（交換）は規定の手順を厳格に守って行って下さい。
4. 本体への蒸留水注入方法・及び排出方法
背面の上段の Injection に付属の給水ホースを接続し、漏斗から蒸留水を注入して頂き中段の Overflow から蒸留水が出て来たら満水になります。使用中にピーピーと電子音が鳴ったら下段の Drainage から蒸留水を排出し新しい物と交換して下さい。
5. 機械全体の設置・使用環境は、乾燥した通気性の良い場所を選んでください。
6. 本機器は非常にデリケートであり、衝撃や衝突を嫌います。機器の内部は精密な電子回路で構成されているため、許可なく勝手に分解したり内部を開けたりしないでください。

5.2 トラブルシューティング

トラブルの現象	考えられる原因	解決策および対処法
機器（本体）が作動しない	・電源プラグがコンセントに差し込まれていない ・電源スイッチが ON になっていない ・電源のヒューズが切れている	・電源接続を確認する ・電源スイッチを確認する ・ヒューズを交換する
ハンドル（ハンドピース）が作動しない	・プローブの残り照射回数が寿命に達している ・照射ヘッド（ワークヘッド）が 破損している ・機器の背面にあるインターフェース（接続部）が正しく装着されていない	・プローブのカウントを確認する ・照射ヘッドを交換する ・接続部を一度外し、正しく再装着する

6. 保証書

1. 初期不良および本体保証

本体（メインエンジン）の保証期間は1 年間です。（消耗部品を除く）その他の保証対象外の故障、または保証期間が過ぎた場合についても、有償にてメンテナンスや部品更新の対応を承ります。（適切なメンテナンス費用を請求させていただきます。）機器が故障した場合は、メンテナンスのために返送していただく必要があります。

※発送日から6 ヶ月以内の場合、返送時の送料は購入者様、修理後の発送送料は販売者（当店）が負担します。6 ヶ月を過ぎた場合は、往復のすべての送料を購入者様にてご負担いただきます。

2. 免責事項（無料保証の対象外）

以下の個人的な理由に起因する故障については、保証期間内であっても無料保証サービスの対象外となります。

① 許可なく本製品を分解、改造したことによる故障

② 使用中や移動中の不慮の落下、衝撃による故障

③ 合理的なメンテナンス（定期的な水交換や清掃など）の欠如によって引き起こされた故障

④ 取扱説明書に記載されている正しい指示に従って操作しなかったことによる故障